

木名瀬くにみつ県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

中高生のSNS 誹謗・中傷が増加

ネットパトロールで判明

明日を担う青少年に夢を託している木名瀬訓光県議(野田市選出、1期)は、6月定例県議会で登壇し、青少年の健全育成や若年性認知症、企業誘致などについて県執行部に施策を聞きました。多くの若者がSNSで交流していますが、木名瀬県議はSNSでのトラブルを防ぐため、県のネットパトロールの充実を要望。さらに、新型コロナウイルスによって相談員の活動が制約されているとして、県の青少年健全育成取り組みへのコロナの影響を質問しました。

6月県議会一般質問



登壇し、一般質問を行う木名瀬訓光県議

木名瀬議員 県では、中学生や高校生等を対象にネットパトロールを実施しているが、インターネット上のトラブルに巻き込まれることを未然に防止する取り組みは非常に重要であり、年々変化する状況への対応を強化していくことが望まれる。

「問題のある書き込み」をした人数は、平成27年度の約6千人をピークに減少を続け、昨年度は約1千人となっており、特に「自分自身の個人情報の公開」をし

た人数は大幅に減っています。一方「誹謗・中傷」や「他人の個人情報の公開」等は、前年度より1000人増え142人となっています。

今年度は、生徒間でもよく使われる学校名の略称などをキーワードとして活用し、検索精度を高めるとともに、新たにSNS上に啓発のための動画広告を配信する予定であり、青少年がインターネットに巻き込まれないよう、しっかりと取り組んでまいります。

木名瀬議員 小学生に対するインターネットの適正利用の啓発に、県はどのように取り組んでいるのか。

環境生活部長 県では、昨年年度、新型コロナウイルスの影響で一部の行事等を中止しましたが、例えば「中学生の主張大会」は無観客で開催し、インターネットカフェなどへの立入調査は、感染防止策を徹底して実施するなど、可能な限り、青少年の健全育成の取り組みが継続できるように努めました。

今年度は、生徒間でもよく使われる学校名の略称などをキーワードとして活用し、検索精度を高めるとともに、新たにSNS上に啓発のための動画広告を配信する予定であり、青少年がインターネットに巻き込まれないよう、しっかりと取り組んでまいります。

また、県内すべての小学校5年生の保護者を対象に、家庭におけるインターネット利用のルール作り等に役立つリーフレットを配布しており、今後も、インターネットの適正利用の啓発に取り組んでまいります。

木名瀬議員 子どもたちをSNSに関連した被害者にも、加害者にもならないために、ネットパトロールや啓発活動をさらに充実していただくよう要望する。

青少年健全育成行事 新型コロナウイルスの影響も

木名瀬議員 新型コロナウイルス感染症によって、青少年相談員などの活動は、行事の中止などの制約を受けているという状況にある。そこがかがうが、新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、青少年健全育成の取り組みにどのような影響があったのか。

環境生活部長 県では、昨年年度、新型コロナウイルスの影響で一部の行事等を中止しましたが、例えば「中学生の主張大会」は無観客で開催し、インターネットカフェなどへの立入調査は、感染防止策を徹底して実施するなど、可能な限り、青少年の健全育成の取り組みが継続できるように努めました。

また、各地域の青少年相談員が主体となる事業では、従来のゲーム大会や綱引き

木名瀬くにみつ・PROFILE

■ 略 歴 ■

- 昭和41年 野田市に生まれる
- 昭和57年 野田市立北部中学校卒業
- 昭和60年 県立野田北高等学校卒業
- 平成4年 国士舘大学工学部卒業
- 平成6年 木名瀬商事(株) 代表取締役就任
- 平成31年 千葉県議会議員当選

■ 現 職 ■

- 千葉県議会 環境生活警察常任委員会副委員長
- 千葉県青少年相談員連絡協議会顧問

●県政や野田市のまちづくりについて、気軽にご相談ください

木名瀬くにみつ 県議事務所

〒278-0042 野田市吉倉836
TEL.04-7125-1950
FAX.04-7124-5399

若年性認知症支援

専用窓口で相談・助言

社会参加の機会創出

木名瀬議員 65歳未満で発症する若年性認知症は、働き盛りの世代で発症することから、本人や家族は様々な生活課題に直面することになる。

県は、若年性認知症の人やその家族への支援として、専用相談窓口にて若年性認知症支援コーディネーターを配置して、医療・福祉・就労等、生活全般の様々な相談・助言を行っていることだが、相談実績はどうか。

健康福祉部長 千葉 若

年性認知症専用相談窓口の令和2年度の相談件数は491件であり、その内容は、介護保険の手続きや医療機関の紹介などの介護・医療の相談のほか、仕事の継続や再就職などの就労関係の相談が多いことが特徴となっています。

相談の中には、何らかの形で仕事を続けたい、あるいは、デイスサービスにおける高齢者向けのレクリエーションには抵抗がある、といったものも多いため、若年性認知症の方の特徴や

本人の意思を踏まえた支援を行うべく必要があるものと考えています。

木名瀬議員 相談実績を踏まえて、今後、県はどのような取り組みをしていくのか。

健康福祉部長 若年性認知症の方は、働きたい人の役に立ちたいという意欲が高いケースが多いことから、その経験や能力を生かした社会参加の機会を創出する仕組みづくりが必要であると考えています。

このため、今年度は、認知症デイスサービス事業者や

柏市、我孫子市、野田市で進む産業用地整備

木名瀬議員 企業誘致に力をつけている。東葛地域における県・市町村・民間との連携でのスキームによる産業用地整備の状況はどうか。

協力企業等が連携して、若年性認知症の方が就労等をするのに適した作業の選定や、企業や現場における作業時のサポート等を行っていくことで、若年性認知症の方が継続的に社会参加できる仕組みを整備する新たな

なモデル事業を実施する予定です。

知事 現在、柏市では、柏インターチェンジ周辺の約30ヘクタールにおいて、組合施行の土地区画整理事業による産業用地整備が進められており、今後、インフラ整備に係る県の補助金の活用も予定されています。

また、我孫子市では、国

県土整備部長 県道境杉戸線では、交通混雑の緩和と歩行者の安全確保を目的に、境大橋から関宿橋までの2.3キロメートル区間について、バス整備や現道拡幅を行っている。

現在、関宿橋側のバイパス区間を優先して整備しており、これまでに、1.9キロメートルのバイパスを整備し、残る0.8キロメートルの整備を進めております。

木名瀬議員 本県では多くの行政手続きにおいて収入証紙が必要だが、現在、収入証紙を廃止している3都府県の状況はどうか。また、デジタル化の流れのなかで、廃止ないし廃止を検討する動きがあるが、本県としてどのように対応するのか。

木名瀬議員 収入証紙制度の検討については、行政手続きのデジタル化の動きも踏まえ、あくまでも県民サービスの向上を第一に考えて取り組むように要望する。



青少年の健全育成などについて県の施策を質問した木名瀬議員

安全で便利な街づくり

県道結城野田線野田市関宿台町引き続き歩道整備

木名瀬議員 県道結城野田線野田市関宿台町地先における歩道整備の進捗状況はどうか。

県土整備部長 県道結城野田線の野田市関宿台町地先は、通学路に指定されていますが、歩道が狭く、屈曲により見通しの悪い区間があります。このため、690メートルの区間で屈曲部の改良と歩道整備を行っています。

これまでに用地取得率は50%となっており、昨年度には、屈曲部において改良工事に着手し、60メートルの歩道整備を完了したところです。

東武野田線連続立体交差全線で高架運行開始

木名瀬議員 東武野田線連続立体交差事業の進捗状況はどうか。

県土整備部長 県では、交通の円滑化を図るとともに、野田市におけるまちづくりを促進するため、東武野田線の「清水公園駅」から「梅郷駅」までの2.9キロメートル区間について、連続立体交差事業を進めています。

県道境杉戸線バイパス令和5年度供用目標

木名瀬議員 県道境杉戸線バイパスの進捗状況はどうか。

県土整備部長 県道境杉戸線では、交通混雑の緩和と歩行者の安全確保を目的に、境大橋から関宿橋までの2.3キロメートル区間について、バス整備や現道拡幅を行っている。

現在、関宿橋側のバイパス区間を優先して整備しており、これまでに、1.9キロメートルのバイパスを整備し、残る0.8キロメートルの整備を進めております。

木名瀬議員 収入証紙制度の検討については、行政手続きのデジタル化の動きも踏まえ、あくまでも県民サービスの向上を第一に考えて取り組むように要望する。